

懐かしい音色とともに、 昭和の香りを運んできます。

売り物は味わい深い蒸しパンなのですが、このパン屋さんにはそれだけじゃない魅力があります。楽しみが乏しかった時代、岐阜のまち角に「ロバのおじさんチンカラリン〜♪」とミュージックを流しながらやってくる移動販売車は、子どもたちに大人気。「この音楽が聞こえると追いかけた」と懐かしがる方が大勢いるパン屋さんです。



エコツー

エコムつうしん 58号 -9月号-

58



イベントに出店した時の様子。懐かしい雰囲気と味わいに、大盛況。写真左端が、お話を伺った山田幸弘さん(専務取締役)です。とても気さくな方でした。



カスタードクリームパン(左)と、定番の三角形のレーズンパン(右)。

モダンで懐かしい。そんなデザインです。



最新型の移動販売車は、ソーラーシステム搭載車。ショッピングセンター前にも、たびたび登場します。



現在は、各地での移動販売のみならず、各種イベント会場および日本昭和村(美濃加茂市)での販売を行っています。

一恵庵 ロバのパン工房


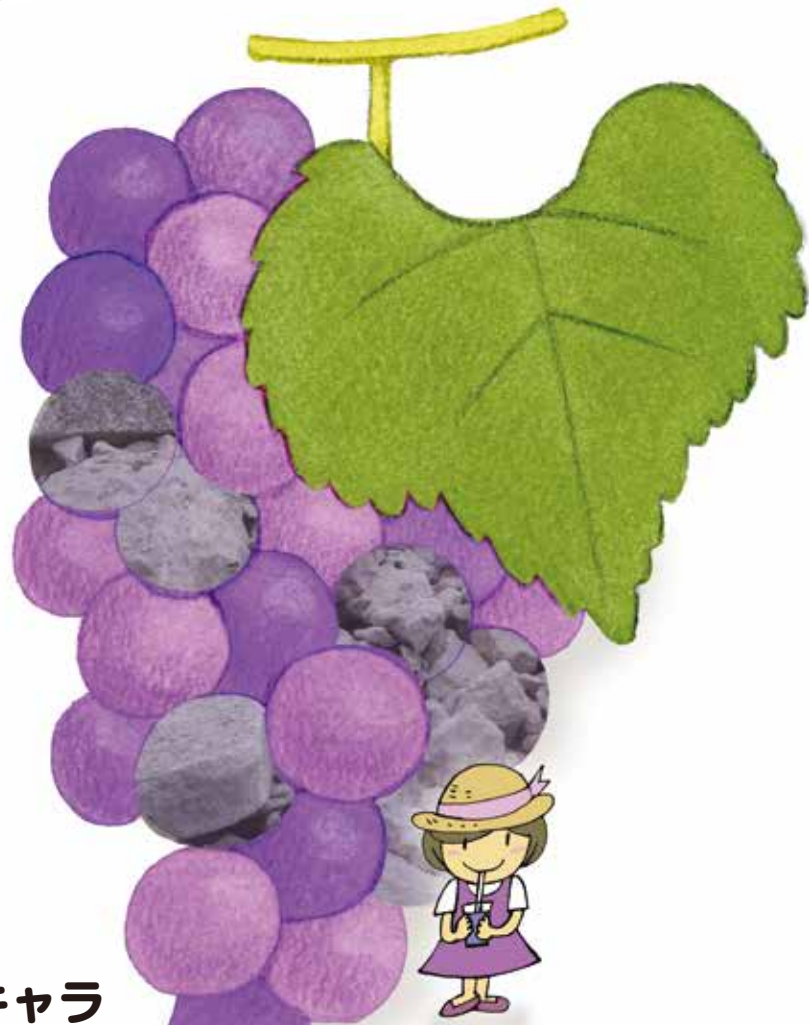


山田幸弘さんと代表の渡辺真理子さん

岐阜県岩手町2丁目17番地三栄ビル1階
TEL: 058-213-8188

HISTORY

昭和6年、京都にて創業(ビタミンパン連鎖店本部)。昨今流行のフランチャイズチェーンの走りで、創業者桑原貞吉は全国を歩いてチェーン店を募った。

ゆるキャラ

- ここが知りたい! エコムちゃん「かわばたくん・もろこちゃん」
- うれしいエコ! みつけた「ロバのパン工房」

「エコツー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。ご好意により「ロバのパン」移動販売車にて、当誌を配布いただけることになりました。どこかで「エコツー」に出会えるかも。





ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

輪之内町で元気に活躍しているキャラクターだよ。



かわばたくん・もろこちゃん

元はと言えば、希少種カワバタモロコの保全をアピールするために生まれてきたキャラクター。カワバタモロコは、ため池や用水路、小川に生息する淡水魚で、昔は水田がひろがる輪之内町には普通にいたというよ。それが環境の変化により数が激減してしまったんだ。



カワバタモロコが元気に住めるところであれば、町の環境も好ましく保たれているということになるんだ。

2014年にはかわばたくんジュニアも生まれ、かわばたくんファミリーとして活躍しているよ。



ゆるキャラ

地方だって、こんなに頑張っているよ!
町や村のそんな思いを伝えられる方法として、ゆるキャラは、いい味を出しているね。



ブームの火付け役は、2007年に登場した滋賀県彦根市の「ひこにゃん」なんだって。ゆる〜い表情がとっても話題になった。それからというもの、全国でたくさんのゆるキャラが誕生し、年ごとのナンバー1を決める「ゆるキャラグランプリ」は、大激戦になっているんだよ。増殖するゆるキャラの状況を八百万の神に例える人もいる。

ゆるキャラの使命は、ご当地のいいところをアピールして、盛り上げること。人気キャラクターともなれば、経済的な効果だって期待できる。

でも、ブームに乗るんじゃないって、まちのみんなのアイドルとして末代まで誇れるような、そんなゆるキャラに成長したら、うれしいね。

ゆるキャラ3か条

ゆるキャラの提唱者であるもうらじゅん氏は、ゆるキャラとして認められるための条件として、3つの条件を挙げています。

1. 郷土愛に満ち溢れた強いメッセージ性があること。
2. 立ち居振る舞いが不安定かつユニークであること。
3. 愛すべきゆるさ、を持ち合わせていること。

これに加え、原則として着ぐるみ化されていることも条件に挙げられています。



お知らせ

「輪之内ふれあいフェスタ」でも、かわばたくんファミリーが大活躍するよ。
10月1日(土)・10月2日(日)
輪之内文化会館周辺



かわばたくんは男の子、もろこちゃんは女の子。2013年6月、住民が見守るなか、本戸地区で行われたあじさい祭りで結婚式を挙げた。



本戸地区のたいしょう池には、カワバタモロコをはじめ、メダカやオイカワなどの淡水魚がたくさん棲んでいるよ。

かわばたくんファミリーは、ついにはアニメ化され、町のケーブルテレビで放映されているよ。ちよつとシュールで、楽しい雰囲気に仕上がっているよ。



「がんばれ!かわばたくん」
わのうちスマイルチャンネル(12Ch)
毎週 月・水・金・日
朝7時10分〜夜8時10分〜



ゆるキャラグランプリ2016に、かわばたくんジュニアがエントリー。みんな、応援してね。